

島根県公立小中学校  
事務職員研究会

会長：鎌田陽子  
(出雲市立神戸川小学校)

編集：広報部

VOL.52 2014.12.12 (時雨号)

発行責任者 蘿 恵 (川本小学校)

島事研ホームページ

<http://www.oh-net.com/~kenjiken/>

# 爽

SOU

## 【目次】

- ▶ 研究大会を終えて (研修部長)
- ▶ 隠岐島前町立学校事務グループの取組
- ▶ 県大会参加者の感想
- ▶ 人権コーナー
- ▶ 研修あれこれ (主任研修)
- ▶ 事務歳時記
- ▶ アイディア募集
- ▶ まんが「フーちゃん」
- ▶ 編集後記



## 研究大会を終えて

研修部長

熊谷 美千子

第45回島根県公立小中学校事務研究大会を益田市のグラントワで開催し、関係諸機関のご協力により、無事終えることができました。益田管内の皆様には、周到な準備並びに気配りの行き届いた大会運営を行っていただき、改めてお礼申し上げます。

さて、今大会は「島事研ビジョン」平成22年度～平成26年度総括の大会と位置づけ、名城大学大学院の木岡先生に『これからの学校事務職員のふんばりとがんばり～未来完了しこうに沿ったストーリー設計～』と題した講演をいただきました。木岡先生には第四次研究中期計画導入時の第40回大会においても講演及びシンポジウムでご提言をいただいております。島事研では研究テーマである「創造しよう 新しい学校事務を！ 教育課程づくりへの参画を通して」に沿って、「学校財務マネジメント能力の向上」と「情報共有によるつなぐ役割への発展」という研究目標を設定し取り組んできましたが、ここで導入時から今日までの5年間の歩みを認めていただけるお話を聞きうれしく思いました。

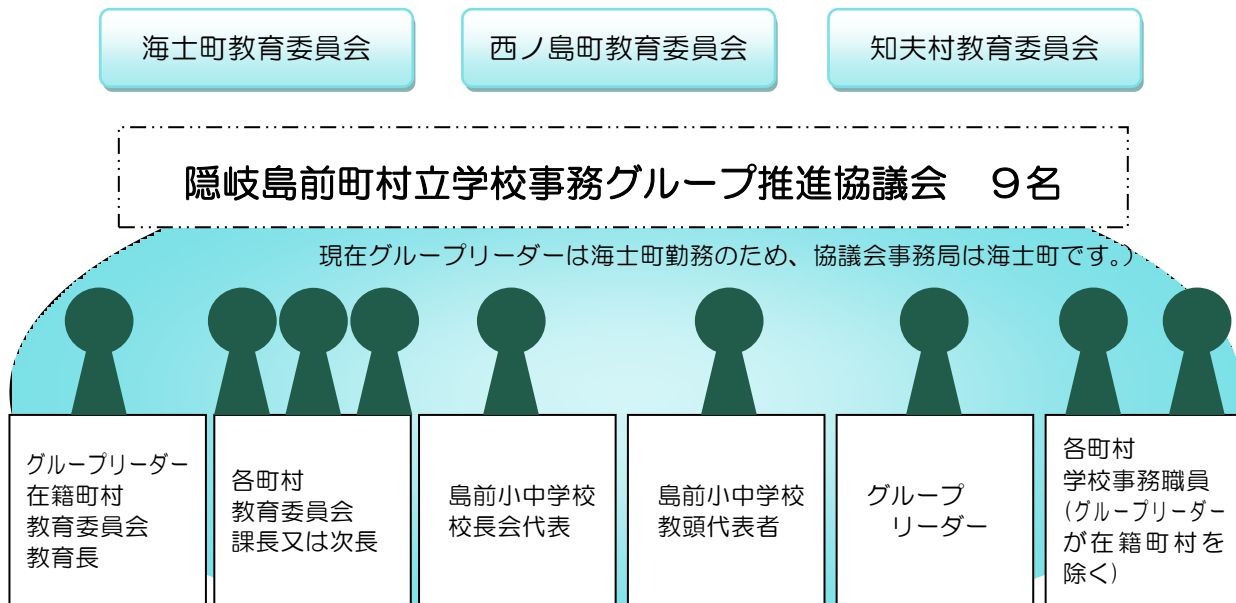
パネルフォーラムにおいては、松江市立美保関中学校の林由里さん、隠岐の島町立磯小学校の渡部大吾さん、出雲市立西野小学校の馬庭志津子さん、大田市立第二中学校の立脇渉さん、津和野町立津和野中学校の渡邊博文さんにパネリストをお願いしたところ、快く引き受けていただきありがとうございました。第42～44回大会の研究発表における取組の概要や成果や課題について、大会発表後の現状などを交えお話しいただき、更に今後の展望についてもふれていただきました。また、木岡先生のポイントを押さえた指導助言は、会員の方々の理解を一層深めることにつながったように感じました。今後、我々が目指す事務職員像が描けたのではないのでしょうか。

そして、1月30日には出雲市(パルメイト出雲)において、第11回学校事務セミナーを開催いたします。島事研ビジョン・第五次研究中期計画について説明させていただきます。たくさんの方の会員の皆さんに参加いただき、ご意見をいただきたいと思っております。よろしくお願いたします。



# 隠岐島前町村立学校事務グループの取組

## ▶ 事務支援グループの組織図



## 隠岐島前町村立学校事務グループ

海士町	西ノ島町	知夫村
海士町立海士中学校 海士町立福井小学校 海士町立海士小学校	西ノ島町立西ノ島中学校 西ノ島町立西ノ島小学校	知夫村立知夫中学校 知夫村立知夫小学校

### ☆ 事務グループ連絡会

- 月1回のグループ全体の研修
  - ・事務の手引き手直し
  - ・諸手当, 赴任旅費等相互点検
  - ・年度当初事務確認
  - ・給与, 児童手当, 住民税についての実務研修
  - ・期末勤勉手当検認相互点検
  - ・教科書事務実務研修
  - ・共済組合被扶養者検認相互点検
  - ・服務, 昇級等実務研修
  - ・年末調整実務研修, 相互点検
  - ・年末事務確認
  - ・転出入, 就学援助事務実務研修
  - ・人事異動に伴う手続き確認 等

### ☆ 町村ごとの活動

- 初任者等の指導
- 教育委員会との連絡会



# 隠岐島前学校事務グループについて

## 事務職員の声

海士町立海士中学校  
事務リーダー 大野一郎

平成17年度人事委員会勧告等に基づき、市町村立学校事務職員に「事務リーダー」が誕生し、中学校区を基本とした「事務グループ」内の学校に配置されることになりました。

島前地区には、西ノ島町、海士町、知夫村の2町1村があります。平成18年度には、西ノ島町に中学校1校小学校3校、海士町に中学校1校小学校2校、知夫村には中学校1校小学校1校がありました。事務グループは、西ノ島町4校4名の事務職員で1つのグループ、海士町3校3名と知夫村2校1名の事務職員は合同で1つグループとなり、それぞれ1名の事務リーダーが配置されました。平成23年度に西ノ島町の3つの小学校が1つの小学校に統合され、事務グループも島前地区で1つになりました。現在、島前3町村で中学校3校小学校4校7名（加配1名）の事務職員でグループ活動を行っています。

事務職員の加配は、平成21年度「きめ細やかな学習指導や教育の情報化の支援等のため事務部門の強化対応を行う学校への事務職員の加配」を、平成22年度から平成24年度までは「事務グループ活動充実のための加配」を西ノ島小学校、平成25・26年度は海士中学校がうけ、事務グループの充実に取り組んでいます。

私たちの事務グループは、事務職員の半数近くが経験年数3年未満です。平成24年度には退職者の代わりに臨時職員が配置され、昨年度、今年度は2年続いて新規採用事務職員が配置されました。そこで事務グループでは、毎月事務グループ連絡会を開催し、その時々業務等について研修し、資質向上に取り組んでいます。また、町村ごとに新採事務職員等の学校を訪問し、電話、FAX、メールで連絡をとりあい、指導援助を行っています。

## 教育委員会の声

海士町教育委員会  
教育総務課長 濱見敏明

隠岐島前学校事務グループは、海士町・西ノ島町・知夫村の3町村の7校で構成されています。3つの島でかつ町村を異にしての事務グループは他に類も無く、地理的な状況も含め他のグループに比べ大変な点がたくさんあると思います。各町村教育委員会の教育方針の違いや学校予算の編成や執行方法の違いがその一つです。この島前地域のようなグループにこそ

事務職員の加配は必要であり、それにより補完し合える環境が生まれると思います。

島前は、7校中1校は兼務配置、1校は臨時職員、2校に新採用者と採用2年目の職員配置であり、毎月開催されているグループの連絡会は貴重な時間であり、有意義なものであるだろうし、そうであって欲しいと思っています。

幸いにも、海士町には3校で4名（加配1名）の正規事務職員が配置されており、何ら心配なことはありませんが、不定期で教育委員会と各校教頭先生と事務職員との合同連絡会を開催し、学校予算編成や執行についての留意点や事務処理等について共通理解を深めています。

島前の学校事務グループ推進協議会が設置されて3年目になりますが、3町村の関係者が一堂に会し、意見交換できる場が開催されることは、事務グループの活動を円滑に進めるために必要なことであり、協議会の運営を今後更に内容の充実したものにしていかなければなりません。

# 第45回 島根県公立小中学校 事務研究大会

11月6日

島根県芸術文化センター  
「Grant7」  
Grand Toit

## 参加者の感想

初めて島根県の研究大会に参加させていただき、島根の地域ごとの取組に深い感銘を受けました。地域のおかれた状況や課題から、地域に根ざした実践発表に結びつけ、素晴らしい成果をあげておられることに、私たちの地域でも、是非参考にさせていただきたいと思っています。

山口県でも世代交代がすすんでいます。若い方の力を信じて、私にできることを重ねていきたいと思いつつ、帰路につきました。

山口県長門市立深川小学校  
森田 美知代

5つの地区のこれまでの取組を振り返り、成果や課題を聞くことで、方向は違うけれど目指す方向は同じだということを改めて感じた。

今回のパネルフォーラムが「新しい学校事務」を考えるヒントになった。

雲南市立掛合中学校  
渡部 弥生



マネジメントに多少は参加しているつもりでしたが、その次元を考えてみると参画には程遠いと思います。定型的業務などに追われる中、研究や新たなマネジメントの業務を実践するのは大変なことです。が、「批判的友人関係」を築けたら、学校事務職員のあり方やビジョンに到達するための目標がより見えてくると思います。改めて協働の大切さを感じました。

大田市立静間小学校 知野見 愛

初めて県大会に参加させていただきました。今回講演を聴いて、参画の意味・定義や学校事務職員の必要性や存在意義を考える良い経験となりました。

これから未来の学校事務職員の可能性を広げるために、今がふんばりどころで、がんばりどころだと感じました。

隠岐の島町立都万中学校 三橋 宏平

「～だから『できない』ではなく、～なら『できる』と考えることが大切」という言葉が印象に残りました。学校の力になれることは何か、日々の仕事の中で、小さなことでも「～ならできる！」を見つけ、前向きに楽しんで仕事をしていきたいと感じた研究会でした。

松江市立内中原小学校 伊藤 裕実

### ● 講演

演題「これからの学校事務職員のふんばりとがんばり」  
名城大学大学院 大学・学校づくり研究科  
教授 木岡一明 様

### ● 島事研ビジョン2010・第四次研究中期計画のまとめ（総会）

### ● パネルフォーラム

研究目標（『学校財務マネジメント能力の向上』『情報共有によるつなぐ役割への発展』）を意識した取組を行ってきて、どのように研究テーマ（創造しよう 新しい学校事務を！教育課程づくりへの参画を通して）に迫ることができたか。その成果や今後の課題について意見交換を行う。

#### 指導助言者

名城大学大学院 教授 木岡一明 様

#### パネリスト

第42回研究発表 《松江》 林 由里 （松江市立美保関中学校）

第43回研究発表 《隠岐》 渡部大吾 （隠岐の島町立磯小学校）

// 《出雲》 馬庭志津子 （出雲市立西野小学校）

第44回研究発表 《浜田》 立脇 涉 （大田市立第二中学校）

// 《益田》 渡邊博文 （津和野町立津和野中学校）

#### コーディネーター

島事研 副会長 青山悦子 （松江市立揖屋小学校）

## 人権 コーナー

### マタニティ ・ハラスメント???

出雲市立塩冶小学校  
杉本和勸

女性の社会進出が叫ばれ、安倍政権も「女性の地位向上」を掲げている。その実現には雇用や子育てなどの環境整備が必要になる。最近発表された世界各国の男女平等の度合いを指数化した調査で日本は142カ国のうち104位だった。そこで、女性の地位向上の一つの障害になっていると考えられる「マタハラ」について最近のニュースから考えてみた。

『妊娠を理由に管理職から降格させられたのは男女雇用機会均等法に違反するとして、理学療法士の女性が勤めていた病院を訴えた』というニュースである。

女性側は「身体的に軽い業務を希望しただけで降格され、労働者としての誇りも傷付けられた。これは、違法な降格で尊厳を傷付けられ、経済的にも痛手を負

った。」とし、弁護側は「妊娠による所属部署の変更で降格を簡単に許しては、女性労働者を萎縮させ出産を踏みとどまらせる。」と主張していた。

反対に病院側は「女性の異動先には3人の職員しかおらず、すでに管理職がいたのでさらに管理職を置く必要性がなかった」と反論し、「管理職の免除を伴う異動について女性本人の同意を得ていた。」と主張していた。

私個人の意見としては病院の規模や実状、女性とどのようなやり取りがあったのかがわからないため、女性の言い分にも病院の言い分にも一理あるように感じる。しかし、お互いにもう少しコミュニケーションが取ればこのような大きな事にはならなかったかもしれない。この記事を読み、何気ない普段の生活の中でも相手の事を思いやること、きちんとコミュニケーションを取る大切さを改めて感じた。

皆さんはどのように考えられるだろうか。



## 研修 あれこれ

### 小・中学校事務職員 主任研修に参加して

出雲市立平田小学校  
北村喜子

平成24年度から26年度に主任に昇任した事務職員を対象とした、2日間の「主任研修」に参加しました。

1日目は「キャリアデザイン」について、一日かけの講義・演習でした。研修に参加された他の6名の方と、今までの事務職員の仕事について、なぜ事務職員になろうと思ったか？今までの仕事の中で起こった大きな出来事は？などお互いに話をしながら、これから自分が歩いていく人生をどのように設計するか考える研修でした。あらためて今までの自分のことを見つめ直したり、ほぼ同じ経験年数の方々と話しながら共感することが多々あったり、充実した時間となりました。

2日目は、教職員の倫理、人権・同和教育、県の施策についての研修や、先輩事務職員に講師となっただけ、グループ協議をおこないました。グループ協議では、自分の現在抱える課題をお互いに話し合い、課題解決のために自分がすべきことを見つける力をつけるための演習でした。課題に対して何ができるかリストアップして整理をし、物事の見方を少し変えてみることで柔軟な対応をしていくことが大事であることを先輩から教えていただきました。

主任になり、事務の仕事は今までと変わりませんが、周りから求められたこと以外に自分で何ができるか考え、新たな目線や意識を持って学校運営に関わっていくことが、主任として今まで以上に必要だと実感しました。

気がつけば事務職員になり、あっという間に10年以上が経ってしまいました。これから先もあっという間に過ぎていくような気がしますが、学び続ける気持ちを忘れずに、少しでも主任として成長できればと思っています。

# 事務歳時記

久屋小学校  
森山 訓

## 夢のごと 過ぎれば早し 夏休み

「絵日記つけてた夏休み 花火を買って夏休み 指折り待ってた夏休み」もいよいよ終わりである。四十日間よく遊び、よく遊び、少し学んだ夏休み。何かし残したことがあるようなないような、明日になればすべてがわかる。

## 黒板の 文字なつかしく 休暇明け

二学期が始まった。最近の夏季休業は、けっこう研修や会合で出かけることも多く、それほどゆったりと休んだような気がしない。疲れを残したままのスタートである。久しぶりの黒板には、今日の日直当番の名前が書いてある。

## 天高し リレーの好きな 小学生

スポーツの秋。校庭では子どもたちが駆けまわっている。誰が言い出したのかリレーが始まっている。五十六年ぶりの東京オリンピックの開催も決まった。さて六年後の開会式の日は、何という祝日になるのだろうか楽しみである。

## 秋深し 最後の研究 県大会



第45回島根県公立小中学校事務研究会。私にとって最後の研究大会が益田市で開催される。最初の県大会から早三十余年、何をしていのかわからなかった若輩者が、今や指導助言者のような顔をして参加している。それも終わる。。。



# 広報誌「爽」 アイディアを募集しています

## 「事務歳時記」掲載スペースの

広報誌『爽』には、久屋小学校 森山 訓さんに創っていただいた俳句「事務歳時記」を毎号掲載しています。

しかし、今年度末に森山さんが定年退職されるため、このコーナーの継続ができなくなります。そこで、平成27年度以降の掲載内容について広報部員で検討しているところですが、いまだ模索しているのが現状です。

つきましては、「事務歳時記」の掲載スペースに何かアイディア・ご意見があれば広報部にお聞かせください。また、「こんな趣味をもっておられる事務職員を知っているよ」という情報がありましたら、ぜひお知らせください。

### 内容

学校紹介(へき地新聞のさわやか事務室のようなもの)、旅行記、本の紹介、俳句 等、どのような内容がよいかについてのアイディア募集  
また、「こんな趣味をもっておられる事務職員を知っているよ」という情報

- 開始時期：平成27年度から
- 掲載の回数：年3回発行する広報誌『爽』に毎回掲載します
- 字数：A4の3分の1程度
- 連絡先：広報部 川本町立川本小学校 蘿 恵

Eメール [kawasho@kawamoto-es.kawamoto-town.jp](mailto:kawasho@kawamoto-es.kawamoto-town.jp)

【編集後記】8月に、一人暮らしをしている娘から「スーパーに買い物に行ったら、そこにいた子犬が家までついてきてしまった。どうしようか」と電話があった。保健所に連絡して引き取ってもらったものの、娘がどうしても自分で飼いたいというので、仕方なく我が家でその犬を飼うことにした。犬を飼うのは初めてで、トイレのしつけ、毎日の散歩、鳴き声が近所の迷惑にならないか等々、最初は不登でいっぱい。でも仕事から帰ると喜んで飛びついてくる犬がだんだんとかわいくなってきた。まるで子どもが一人増えたようで、毎日の話題は犬のことばかり。犬の世話をしているつもりでいたが、逆に癒やされている。(T.M)



原作:千葉ひろみ 画:大橋幸子